

# 伊豆市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）概要版

## 策定の背景

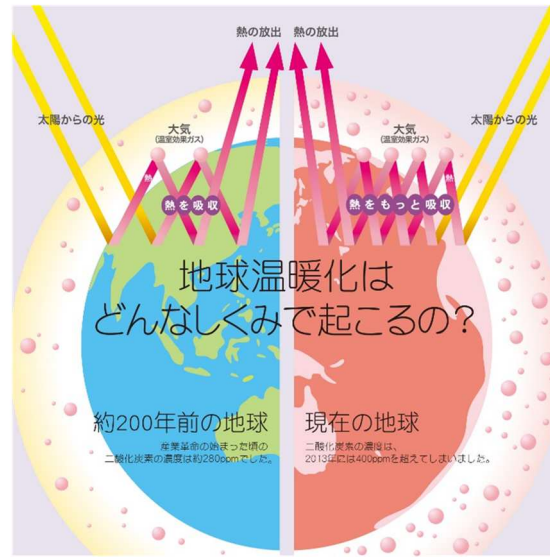
気候変動問題は、地球温暖化の進行に直接関係して拡大することが示され、最も重要な環境問題の一つです。地球温暖化は、産業活動が活発になった結果、二酸化炭素などの温室効果ガスが大量に排出されて増加して進行しており、猛暑や豪雨などのリスクは更に高まることが予測されています

温室効果ガスの排出削減に向けては、一国が取り組むだけでなく、世界各国で取り組まなければ実現することはできません。現在では全ての国が削減目標・行動をもって気候変動問題に取り組んでいます。

日本では、2020年10月「2050年カーボンニュートラル目標」を宣言し、「地球温暖化対策計画」の改定を行い、地球温暖化対策を推進しています。

また、伊豆市でも、2022年6月、伊豆市ゼロカーボン戦略「かけがえのない地球を守る小作戦」を宣言し、2050年までにカーボンニュートラルとプラスチックごみ排出ゼロを目指しています。

本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき策定し、二酸化炭素を対象とするものです。計画期間は2024～2023年度の7年間としています。



温室効果ガスと地球温暖化のしくみ

## 取組みの方針

### と施策体系

基本 施策	運輸部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー行動の普及</li> <li>公共交通機関の利用促進</li> <li>自転車利用の促進</li> </ul>
	業務その他部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー建物・設備等の普及</li> <li>省エネルギー行動の普及</li> <li>再生可能エネルギーの普及啓発</li> </ul>
	家庭部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー建物・設備等の普及と導入</li> <li>省エネルギー行動の普及</li> <li>ごみの発生抑制</li> <li>再生可能エネルギーの普及啓発</li> </ul>
	廃棄物分野	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの発生抑制</li> <li>プラスチックごみリサイクルの推進</li> </ul>
	二酸化炭素の吸収源に係る施策 (地球温暖化ガス吸収源の保全と拡充)	

### 基本方針

伊豆市ゼロカーボン戦略  
「かけがえのない地球を守る小作戦」

## 取組み内容

運輸部門：基本施策	取組み
省エネルギー行動の普及	エコドライブの促進
公共交通機関の利用促進	地球温暖化ガスの排出が少ない交通手段の選択推進
自転車利用の促進	移動手段としての自転車選択の推進

業務その他部門：基本施策	取組み
省エネルギー建物・設備等の普及	省エネルギーに向けた設備導入促進
省エネルギー行動の普及	省エネルギー行動の推進(脱炭素ライフスタイルへの転換促進等)
	環境イベントへの参加促進
	地球温暖化対策に係る人材育成促進
再生可能エネルギーの普及啓発・導入検討	エネルギーマネジメントシステム普及促進
	再生可能エネルギー発電設備等の普及啓発・促進
	再生可能エネルギーによる電力利用への切り替えの啓発・普及促進

家庭部門：基本施策	取組み
省エネルギー建物・設備等の普及と導入	省エネルギーに向けた設備導入促進
省エネルギー行動の普及	省エネルギー行動の実施推進(ライフ・ワークスタイルの転換推進等)
ごみの発生抑制	環境イベントへの参加呼びかけ
	ごみの減量化の徹底
再生可能エネルギーの普及啓発・導入検討	食品ロスの削減
	住宅への太陽光発電設備等の導入のための普及啓発
	再生可能エネルギーによる電力利用への切り替えの啓発・普及促進

廃棄物分野：基本施策	取組み
ごみの発生抑制	ごみの減量化の徹底
	食品ロスの削減、地産地消の推進
プラスチックごみリサイクルの推進	サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへの変換

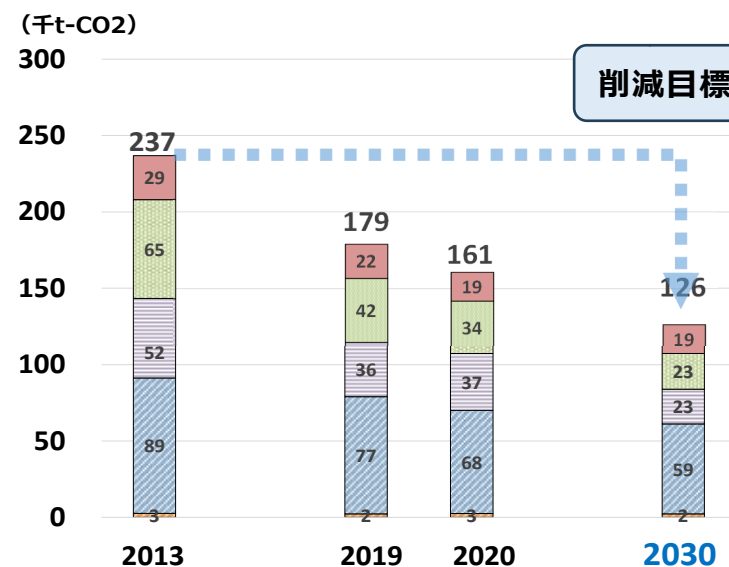
吸収源に関する分野：基本施策	取組み
地球温暖化ガス吸収源の保全と拡充	森林吸収源の整備促進

## 伊豆市の温室効果ガスの削減目標

本市の目標は、国・静岡県をふまえて、以下のとおりとします。

### 市域全体の削減目標

2030(令和12)年度までに2013(平成25)年度比で46.6%削減



### 伊豆市のCO2排出量内訳 (2020年度)

